

南投高級中学との Online 交流会

令和 7 年 12 月 10 日 (水) 14:30~16:00 に、視聴覚室において台湾の南投高級中学との Online 交流会が開催されました。来年 3 月に予定されている台湾研修の準備の一環として、英語による討論活動、学校紹介を中心に交流が行われました。昨年度に続き 3 回目の Online 交流会でしたが、事前に行った Zoom 講習会等が功を奏し、参加者はスムーズに Zoom を扱い滞りなく交流会での討論活動に専念することができました。

話し合い活動のテーマとしては ① “In what situations do Japanese and Taiwanese high school students come into contact with or use English in their daily lives?” ② “Will AI take away human jobs?” ③ “How can teenagers deal with the influence of social media information?” を主な問いとし、それぞれの意見を述べ合いました。6 つの Breakout Room に別れ、一高生と南投高中生による司会進行により議論は進められましたが、自分の考えを英語で表現する難しさに苦悶の表情を浮かべる生徒も見られました。しかし、この交流会により海外と繋がるのは決して難しいことではなく、英語力向上の機会は数多く存在することに参加者は気づいた様子でした。

今後は 3 月の台湾研修に向け、英語による課題研究発表、大学施設における講義等の準備を生徒は行います。台湾での研修が有意義なものとなるよう、今回の交流会で得た学びを最大限生かしていきたいと思います。



〇挨拶をする南投高級中学の廖倉祥 校長先生と Lin 先生



〇Zoom による交流活動

【参加者の感想】

とても楽しかった。台湾には明るい人達が多かったし、この交流会のために一つ一つの質問についてスライドを作ったりしていて、台湾の皆の熱意を感じた。(2 年)



オンライン交流会を通して、まだまだ英語力が足りないと感じた。特に自分で考えて、文章を紙に書かずに話すことが苦手なのでこれから努力していきたい。また、なかなか英語を聞き取ることができなかったのも、テストでのリスニングだけでなく日常の会話の練習もしたいと思った。聞き取れない理由の1つに単語を知らないからというものもあると思ったのでこれから猛勉強したい。

モデレーターとして話していて、みんなからの反応がなくて聞こえていないのか英語が間違っていて伝わらないのかが分からず困ったので他の人が話していて自分が聞き手のとき（特に非対面のとき）にはわかりやすく相槌を打つようにしたい。（2年）

お互い母国語でない言語で自分の考えを一生懸命伝え合うことができ、良い経験になったし、成長や課題を感じられた時間だった。台湾の高校生達のレベルの高さに圧倒されたので、負けないように、またもっと会話を充実させられるように残りの3ヶ月毎日英語に触れることを意識して頑張っていきたい。（2年）



【編集後記】

今回の Online 交流会に関するアンケート結果から、「英語を上手に話したい」「より学習に励みたい」と感じた参加者が多かった実態が浮かび上がった。また、実際に英語でのコミュニケーションを体験し、参加者の多くが自分の考えを表現する楽しさや難しさを深く実感していたことも印象的であった。交流会の前に行われた Zoom 講習会では、Zoom 使用に戸惑った参加者も、本番ではスムーズに Zoom にアクセスしその機能を使いこなしていた。いろいろな場面で自らのスキル向上に自信を深めながら、今後の活動により積極的に取り組んでいきたい。